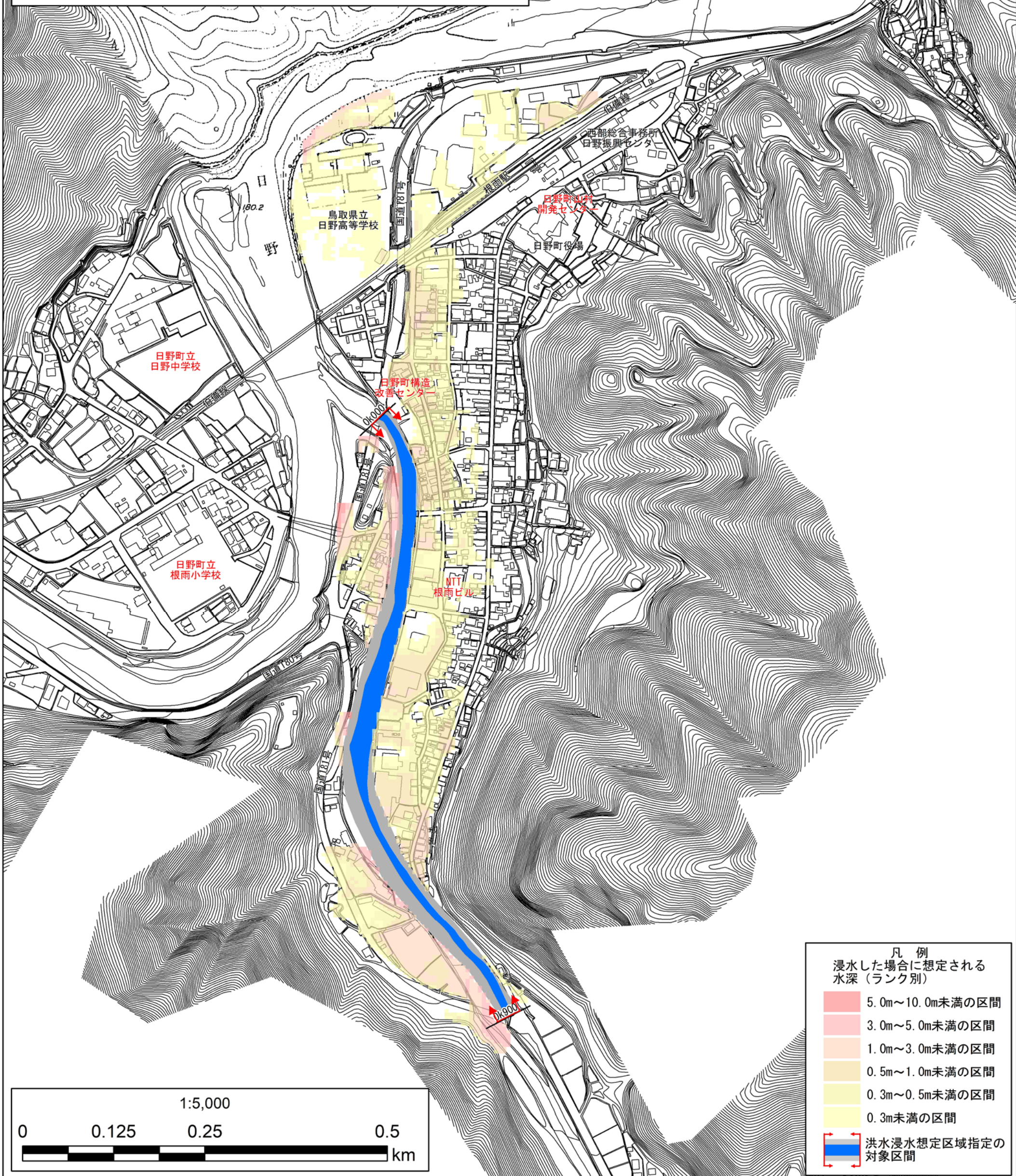


日野川水系板井原川 洪水浸水想定区域図



- 1 説明文
- (1) この図は、日野川水系板井原川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の板井原川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により板井原川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 指定年月日 平成30年6月5日
 - (3) 告示番号 鳥取県告示第390号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
 - (5) 対象となる水位周知区間及びその影響区間
日野川水系板井原川（実施区間／左岸：日野郡日野町高尾宇御崎谷尻720-1地先から日野川合流点まで
右岸：日野郡日野町高尾宇大谷尻12-1地先から日野川合流点まで）
 - (6) 指定の前提となる降雨 日野川流域の48時間の総雨量519mm
 - (7) 関係市町村 日野町
 - (8) その他計算条件等
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、日野川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある降雨量の変化は考慮していません。

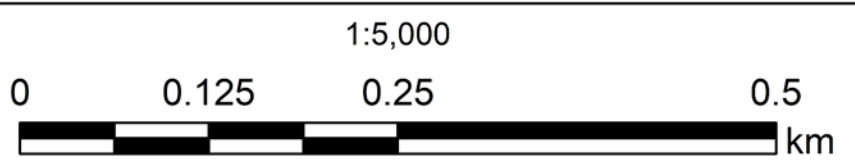


凡例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

5.0m～10.0m未満の区間
3.0m～5.0m未満の区間
1.0m～3.0m未満の区間
0.5m～1.0m未満の区間
0.3m～0.5m未満の区間
0.3m未満の区間

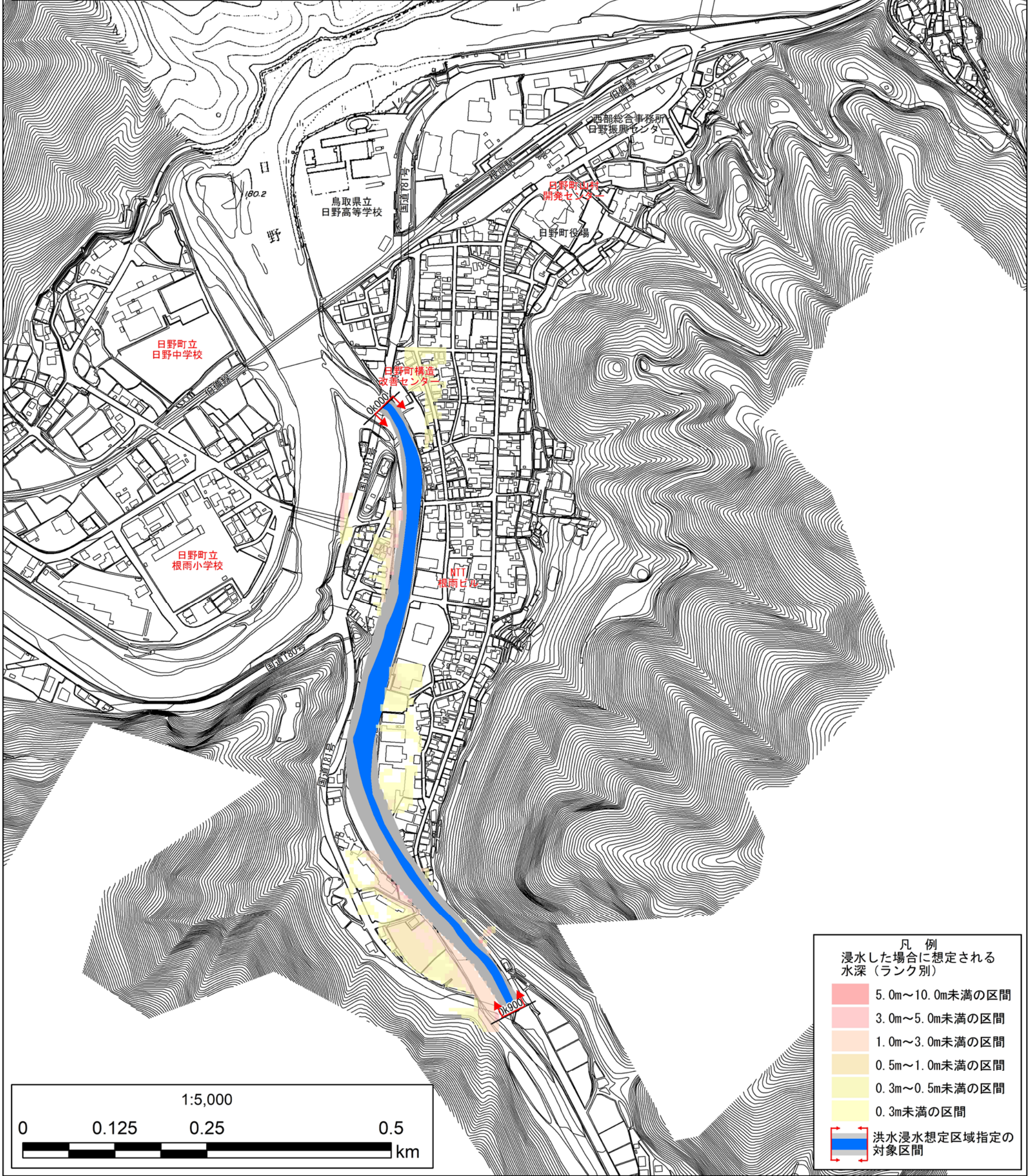
洪水浸水想定区域指定の対象区間



日野川水系板井原川 洪水浸水想定区域図 (計画規模)

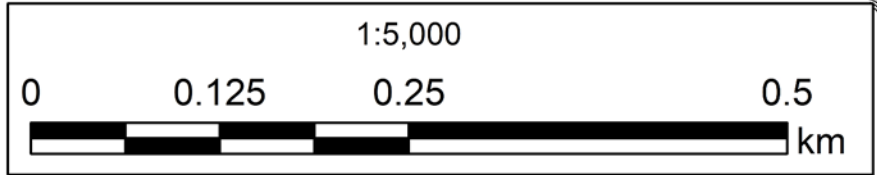


- 1 説明文**
- この図は、日野川水系板井原川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - この洪水浸水想定区域は、指定時点の板井原川の河道の整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる年超過確率1/20（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/20（5%））の降雨に伴う洪水により板井原川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等**
- 作成主体 鳥取県
 - 指定年月日 平成30年6月5日
 - 告示番号 鳥取県告示第390号
 - 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
 - 対象となる水位周知区間及びその影響区間
日野川水系板井原川（実施区間／左岸：日野郡日野町高尾字御崎谷尻720-1地先から日野川合流点まで
右岸：日野郡日野町高尾字大谷尻12-1地先から日野川合流点まで）
 - 指定の前提となる降雨 1時間に62.6mm
 - 関係市町村 日野町
 - その他計算条件等
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、日野川流域の多里雨量観測所における昭和44年から昭和62年の観測記録をもとに作成された降雨強度式の年超過確率1/20から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある降雨量の変化は考慮していません。



凡 例
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

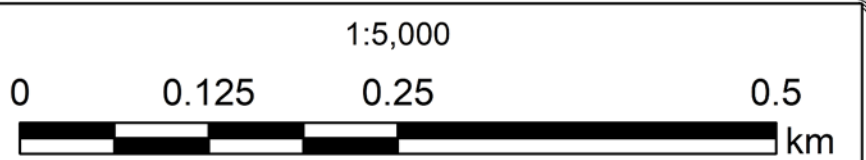
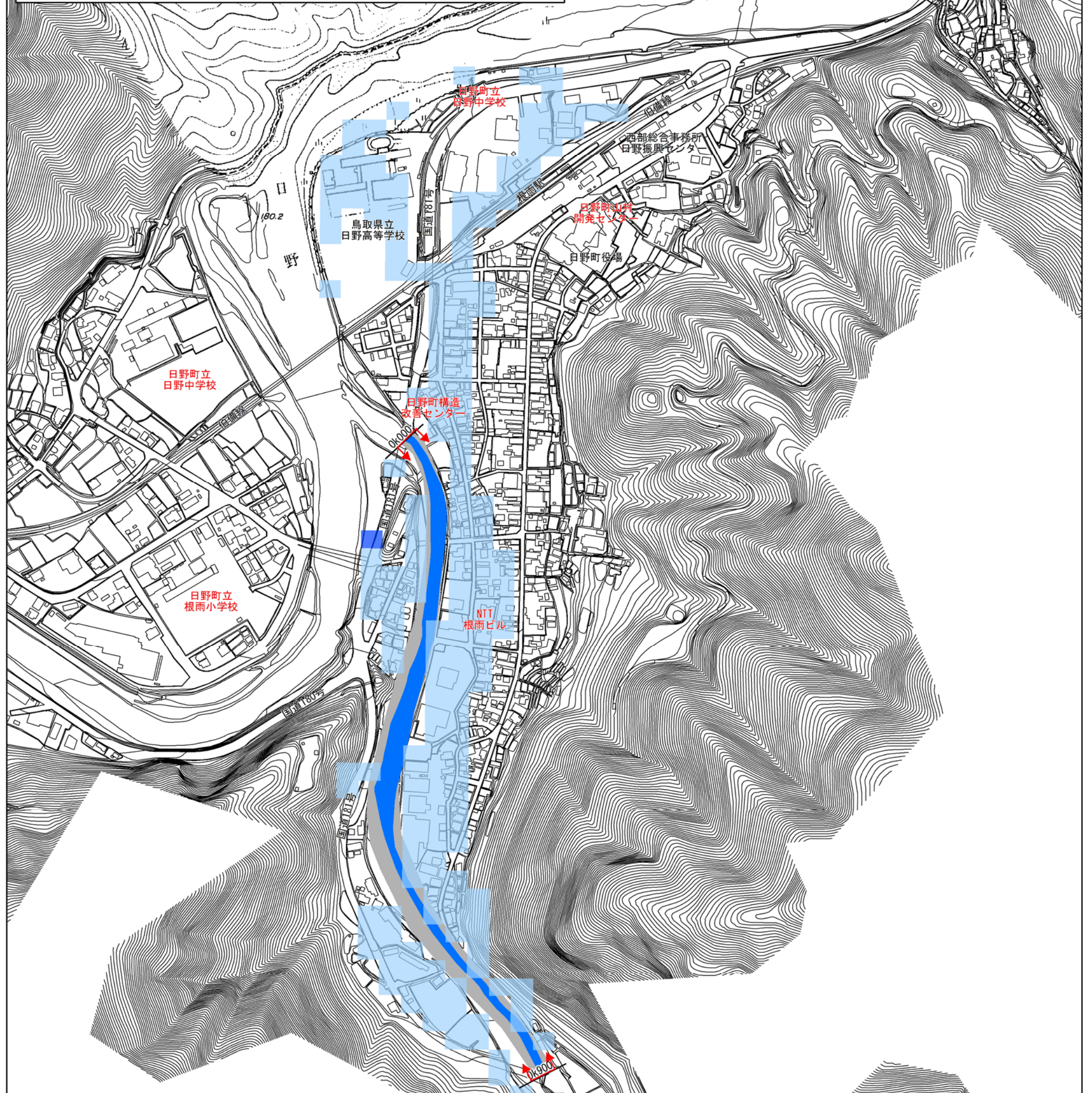
5.0m～10.0m未満の区間
3.0m～5.0m未満の区間
1.0m～3.0m未満の区間
0.5m～1.0m未満の区間
0.3m～0.5m未満の区間
0.3m未満の区間
洪水浸水想定区域指定の対象区間



日野川水系板井原川 洪水浸水想定区域図（浸水継続時間）



- 1 説明文**
- (1) この図は、日野川水系板井原川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された浸水継続時間を表示した図面です。
 - (2) この浸水継続時間は、指定時点の板井原川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により板井原川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等**
- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 指定年月日 平成30年6月5日
 - (3) 告示番号 鳥取県告示第390号
 - (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第1項
 - (5) 対象となる水位周知区間及びその影響区間
日野川水系板井原川（実施区間／左岸：日野郡日野町高尾宇崎谷尻720-1地先から日野川合流点まで
右岸：日野郡日野町高尾宇大谷尻12-1地先から日野川合流点まで）
 - (6) 指定の前提となる降雨 日野川流域の48時間の総雨量519mm
 - (7) 関係市町村 日野町
 - (8) その他計算条件等
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、日野川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある降雨量の変化は考慮していません。

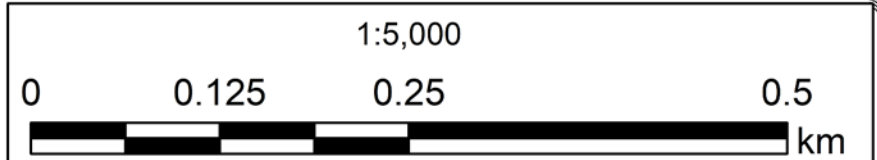
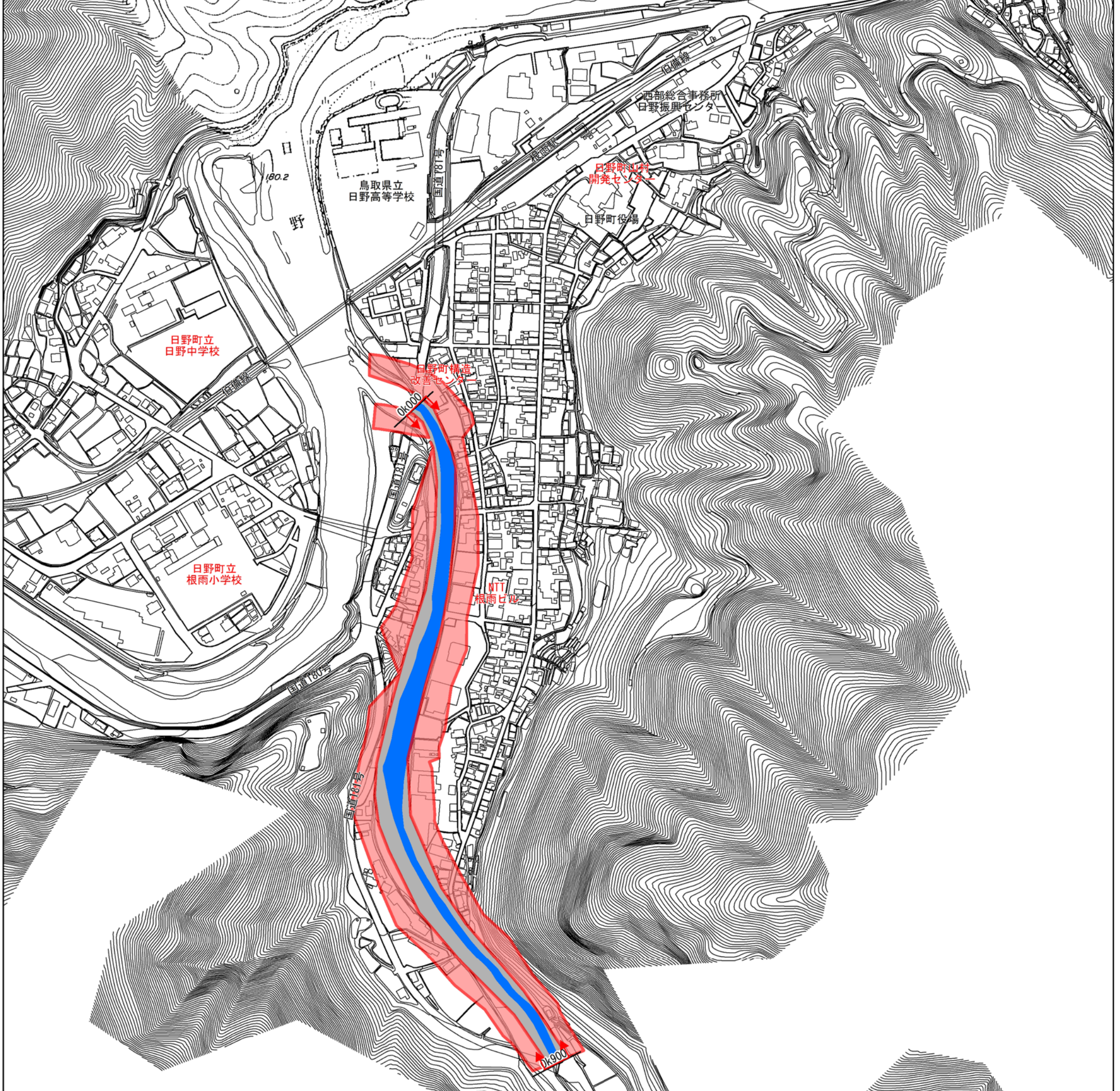


- 凡例**
浸水継続時間（ランク別）
- 12時間未満の区域
 - 12時間～24時間（1日）未満の区域
 - 洪水浸水想定区域指定の対象区間

日野川水系板井原川 参考：洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域）



- 1 説明文
- (1) この図は、日野川水系板井原川の水位周知区間及びその影響区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
 - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、指定時点の板井原川の河道の整備状況を勘案して、想定される最大規模の降雨に伴う洪水により板井原川が氾濫した場合の状況をシミュレーションにより予測したものと及び板井原川の河岸侵食による侵食幅を予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に該当しない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
 - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の一定の仮定を与えて算定しており、また、板井原川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものについては、個々の家屋の構造・強度特性等の違いは考慮していないことから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 指定年月日 平成30年6月5日
 - (3) 対象となる水位周知区間及びその影響区間
 日野川水系板井原川（実施区間／左岸：日野郡日野町高尾宇崎谷尻720-1地先から日野川合流点まで
 右岸：日野郡日野町高尾宇大谷尻12-1地先から日野川合流点まで）
 - (4) 指定の前提となる降雨 日野川流域の48時間の総雨量519mm
 - (5) 関係市町村 日野町
 - (6) その他計算条件等
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、日野川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある降雨量の変化は考慮していません。

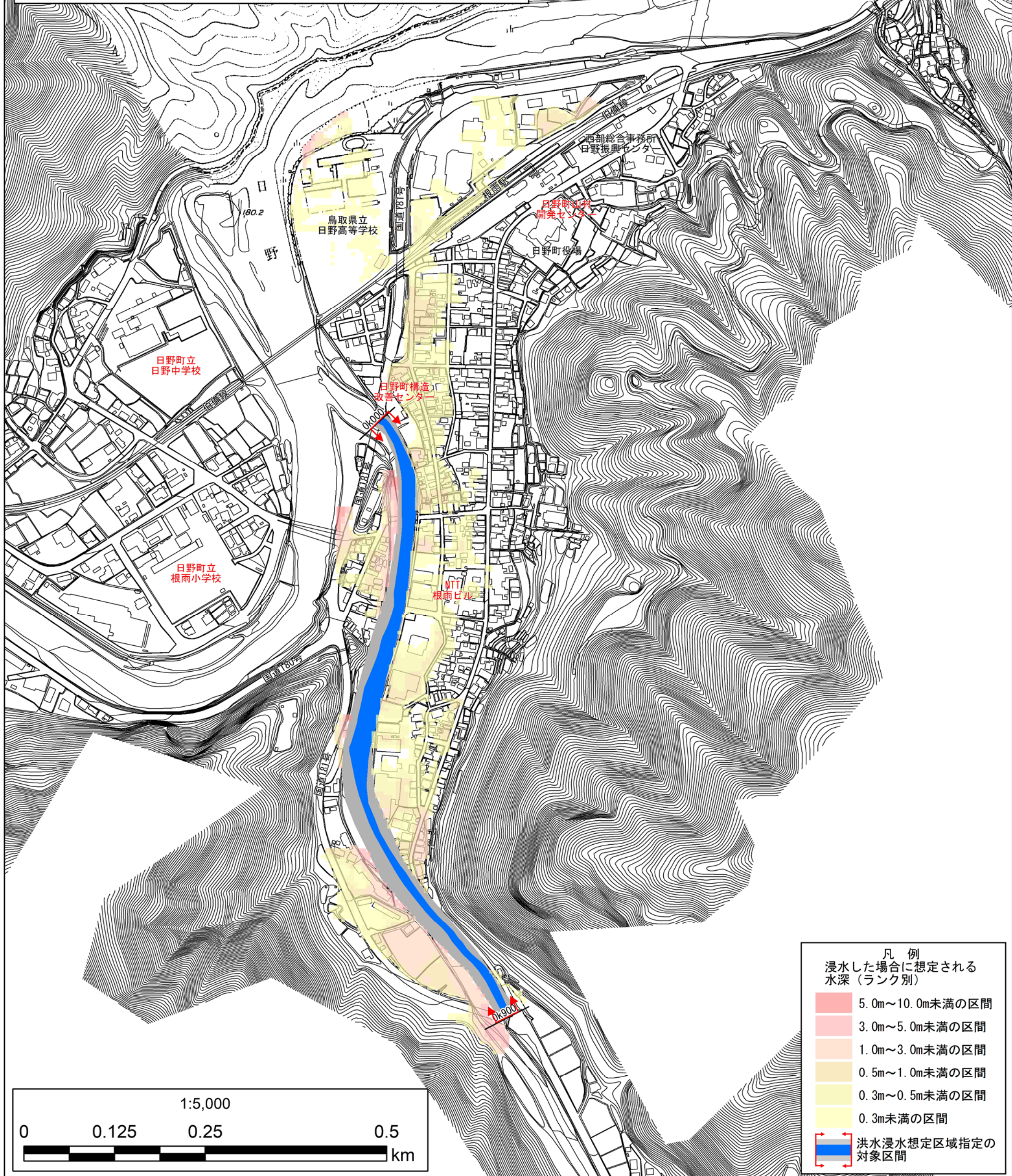


- 凡例
- 家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食）
 - 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
 - 浸水想定区域指定の対象となる水位周知河川

日野川水系板井原川 参考：洪水浸水想定区域図（1/100規模）



- 1 説明文
- (1) この図は、日野川水系板井原川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の板井原川の河道の整備状況を勘案して、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1%））の降雨に伴う洪水により板井原川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 指定年月日 平成30年6月5日
 - (3) 対象となる水位周知区間及びその影響区間
日野川水系板井原川（実施区間／左岸：日野郡日野町高尾字御崎谷尻720-1地先から日野川合流点まで
右岸：日野郡日野町高尾字大谷尻12-1地先から日野川合流点まで）
 - (4) 指定の前提となる降雨 1時間に80.8mm
 - (5) 関係市町村 日野町
 - (6) その他計算条件等
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、日野川流域の多里雨量観測所における昭和44年から昭和62年の観測記録をもとに作成された降雨強度式の年超過確率1/100から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある降雨量の変化は考慮していません。



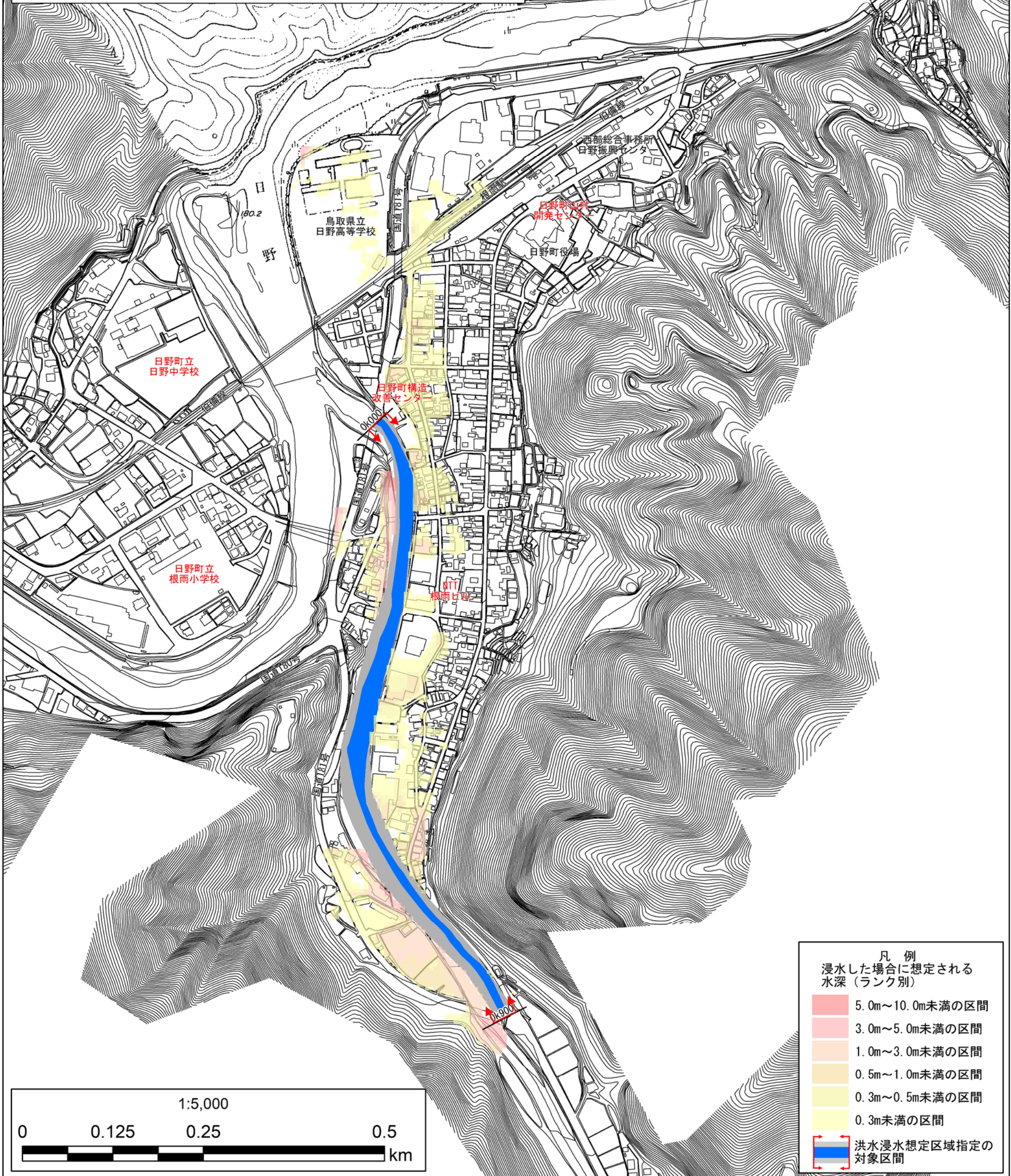
凡例
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

5.0m～10.0m未満の区間
3.0m～5.0m未満の区間
1.0m～3.0m未満の区間
0.5m～1.0m未満の区間
0.3m～0.5m未満の区間
0.3m未満の区間
洪水浸水想定区域指定の対象区間

日野川水系板井原川 参考：洪水浸水想定区域図（1/50規模）

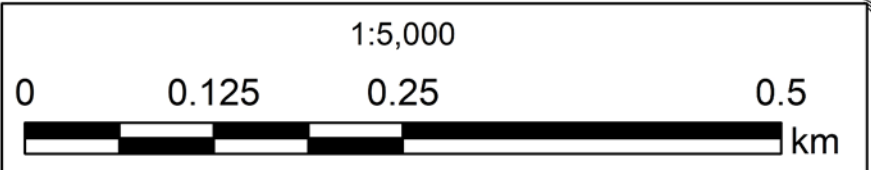


- 1 説明文
- (1) この図は、日野川水系板井原川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の板井原川の河道の整備状況を勘案して、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2%））降雨に伴う洪水により板井原川が氾濫した場合の浸水の状態をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 指定年月日 平成30年6月5日
 - (3) 対象となる水位周知区間及びその影響区間
日野川水系板井原川（実施区間／左岸：日野郡日野町高尾字御崎谷尻720-1地先から日野川合流点まで
右岸：日野郡日野町高尾字大谷尻12-1地先から日野川合流点まで）
 - (4) 指定の前提となる降雨 1時間に72.9mm
 - (5) 関係市町村 日野町
 - (6) その他計算条件等
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、日野川流域の多里雨量観測所における昭和44年から昭和62年の観測記録をもとに作成された降雨強度式の年超過確率1/50から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある降雨量の変化は考慮していません。



凡例
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

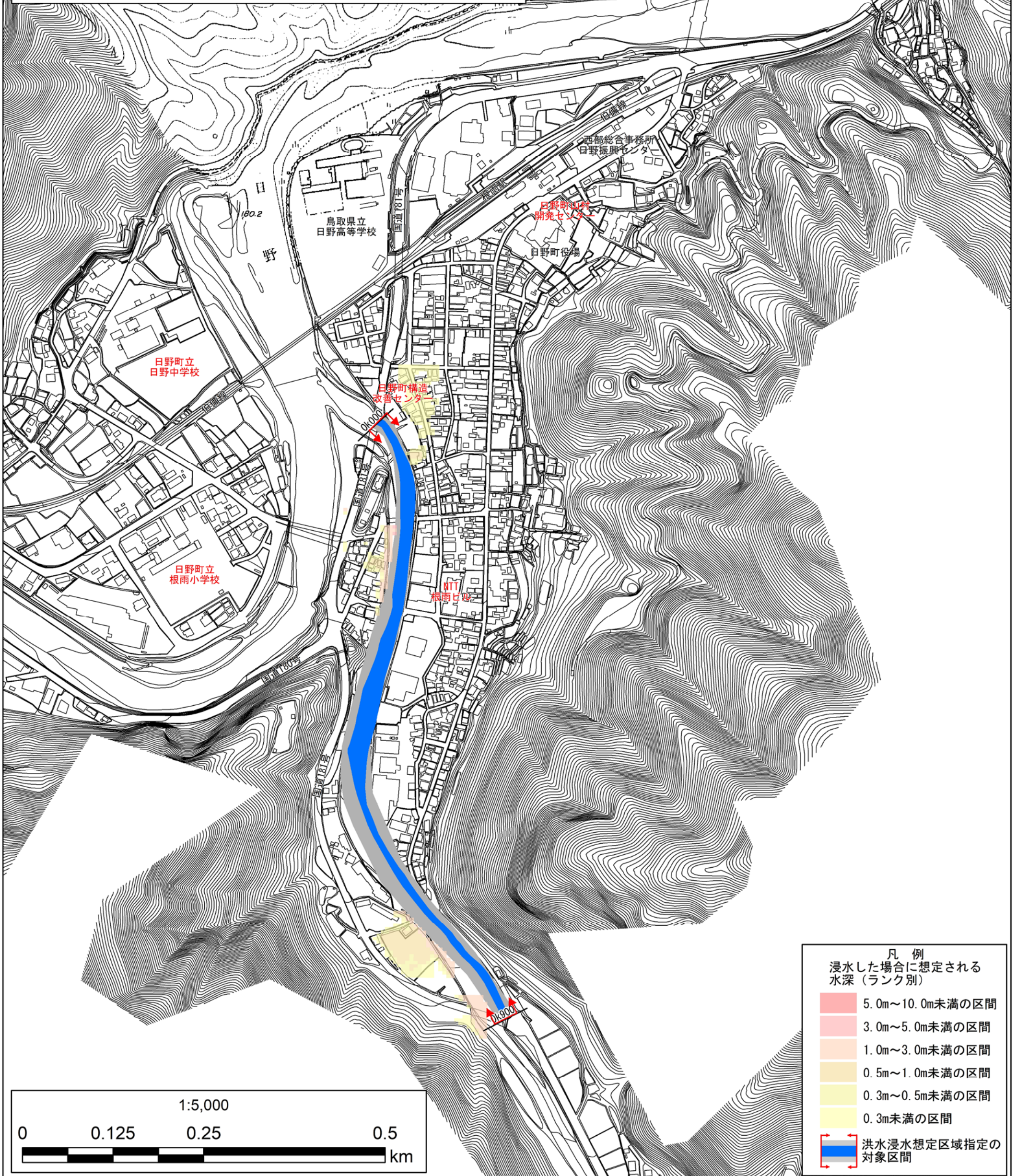
5.0m～10.0m未満の区間
3.0m～5.0m未満の区間
1.0m～3.0m未満の区間
0.5m～1.0m未満の区間
0.3m～0.5m未満の区間
0.3m未満の区間
洪水浸水想定区域指定の対象区間



日野川水系板井原川 参考：洪水浸水想定区域図（1/10規模）



- 1 説明文
- (1) この図は、日野川水系板井原川の水位周知区間及びその影響区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 - (2) この洪水浸水想定区域は、指定時点の板井原川の河道の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10%））の降雨に伴う洪水により板井原川が氾濫した場合の浸水の状態をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 鳥取県
 - (2) 指定年月日 平成30年6月5日
 - (3) 対象となる水位周知区間及びその影響区間
日野川水系板井原川（実施区間／左岸：日野郡日野町高尾字御崎谷尻720-1地先から日野川合流点まで
右岸：日野郡日野町高尾字大谷尻12-1地先から日野川合流点まで）
 - (4) 指定の前提となる降雨 1時間に53.7mm
 - (5) 関係市町村 日野町
 - (6) その他計算条件等
 - ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 - ・指定の前提となる降雨は、日野川流域の多里雨量観測所における昭和44年から昭和62年の観測記録をもとに作成された降雨強度式の年超過確率1/10から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある降雨量の変化は考慮していません。



凡例
浸水した場合に想定される水深（ランク別）

5.0m～10.0m未満の区間
3.0m～5.0m未満の区間
1.0m～3.0m未満の区間
0.5m～1.0m未満の区間
0.3m～0.5m未満の区間
0.3m未満の区間
洪水浸水想定区域指定の対象区間

